

苫小牧で新モデルハウス

ゼロエネと換気暖房の快適さ訴求

住まいのウチイケ

(株)住まいのウチイケ(本社室蘭市、内池秀光社長)は11月11日、苫小牧市ウトナイ北10丁目9-6に苫小牧常設モデルハウスをオープンした。

同社は、室蘭を中心に胆振管内でゼロエネ住宅やゼロエネ住宅並みの断熱性を持つ規格住宅「U-BOX」など、省CO₂の家づくりを特色としている。

苫小牧でのモデルハウスは1年半ぶり。新興住宅地として人気があるウトナイ地区に出展した。同社の規格住宅「U-BOX」のプランと外観をベースとし、太陽光発電を搭載することでゼロエネ提案を行う。また、ハイグレードな建材、インテリアを採用しており、注文住宅の打ち合わせにも利用できる。

モデルハウスは木造軸組2階建てで延床面積は約31坪。断熱仕様は、上位の「ecohouse ZeRo(エコハウスゼロ)」と同じ仕様で、外壁が高性能グラスウール105mm充てん+フェノールフォーム120mm外張り付加、サッシはエクセルシャノン(株)のトリプルガラ

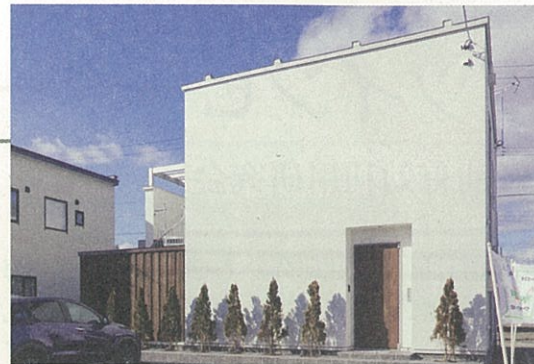
ス入り樹脂サッシ・UFシリーズなどを採用し、UA値0.22Wを実現。

空調は、換気システムの給気側ダクトと接続し、新鮮外気を汎用エアコンで暖気・冷気に変え、DCファンでダクトを通じて各部屋に送って全館空調を行う「コンフォート24-G5」(設計・販売(株)システック環境研究所)を採用。換気は第1種熱交換換気システム。

コンフォート24-G5は、採用する住宅の条件をUA値0.3W以下など、暖房負荷の小さな高性能住宅に限定し、ダクト設計を工夫することで、気流感をほとんど感じさせず全室をほぼ一定の温度に保つことができる。

インテリアは、流行の石、木、鉄など異素材を組み合わせた都会的な雰囲気としている。

工藤貴・苫小牧支店長は、「室蘭地区で人気のU-BOXを苫小牧でも広めていきたいという思いと、省CO₂の家づくりを進める当社の考え方をモデルハ



モデルハウス外観



木、石、鉄といった素材感を大切に室内

ウスを通じてアピールできたら、と考えている」と話している。